

**東京電機大学同窓会  
平成 22 年度第 4 回幹事会議事録**

会議開催日時	平成 22 年 9 月 14 日（火曜）18：30～20：30
開催場所	神田キャンパス 10 号館 校友会 6 階会議室
参加者 （順不同）	小林幸宏、柳田裕二、相原浩一、小島一記、野崎隆、 長坂健一郎、福田文夫、大館昌男、野村章次、野島謙之助、 橘敏彦、本間章彦、大野孝、前田 治、鈴木迪子、 千葉公胤、三井和幸、松本健治、田中宏、西川義人、 平山文雄、米田守重、大山実、福嶋邦夫、石崎泰司 平栗健二、土肥紳一  (校友会)稲毛通男 (28名)
配布資料	1．大学同窓会 H 22 年度 第 4 回幹事会レジュメ 2．同窓会 H P 掲載の幹事紹介原稿について（広報委員会）
議事内容	記録者：小島一記

### ・古田学長ご挨拶

今回、古田学長が提唱されている「TDU ルネッサンスと進化」のコンセプトと具体化の状況をお伺いするため同窓会幹事会にお招きした。

以下事項に関するご紹介がされた。

#### 1．東京電機大学グランドビジョン（TDU ルネッサンスと進化）

- (1) 時代は移っても、変わらない使命
  - ・科学技術によって社会に貢献する人材を育成する。
  - ・建学の精神「実学尊重」
  - ・教育・研究理念「技術は人なり」
- (2) 厳しい現実のなか、未来を担うインテリジェントな技術者育成
  - ・少子化、大学教育のユニバーサル化、社会、科学技術の急激な変化
  - ・たくましい適応能力のあるインテリジェントな技術者の育成
- (3) 基本の鍛錬と専門性の進化と深化
  - ・基礎教育の進化、コミュニケーション能力の養成
  - ・学生に社会が求める研究の意義を明確に認識させる

#### 2．東京電機大学グランドデザイン

- (1) 建学の精神：実学尊重。教育・研究理念：技術は人なり
- (2) 学園創立 100 周年宣言
  - 1．技術の教育・研究を通し、社会に貢献する人材の育成
  - 2．技術を通し、社会に貢献したい人のための大学運営
  - 3．学生を最優先に考え、優れた教育に価値をおく

- 4 . 卒業生が活躍すること
- 5 . 時代をリードし社会が求める人材の育成
- ( 3 ) 教育・研究の充実
  - ・ 基盤教育と高度教育の両立
  - ・ 社会ニーズに対応した多様化教育
  - ・ 社会に貢献する研究
- ( 4 ) 21世紀の東京電機大学の使命
  - ・ 社会に貢献する技術者の育成  
( 高度専門職業人、科学技術者、起業家、研究者、中堅技術者 )

### 3 . 国際化の推進について

- ( 1 ) 海外協定校の状況
  - ・ 海外25大学との協定による交換留学、インターンシップ協力、編入学を実施。
  - ・ 留学生の増員に繋がるよう、質・量ともに進化させてゆく。
- ( 2 ) 国際センターの設置
  - ・ 学長としてかねてより「社会環境の変化や科学技術の進歩に適応できる人材の育成」を提唱してきた。
  - ・ グローバル化がますます進展する経済・社会において、国と文化を超えた広義のコミュニケーション能力（異なる文化と習慣を受け入れ、理解し、共有しつつ、協働していく能力）を備えた人材は、「変化に対応できる科学技術者教育」にとって非常に重要な要素。
  - ・ こうした人材育成を行うために、大学全体での「国際交流の活性化」は、必要不可欠であり、その一歩として留学生数の拡大を目指す。

## ・ 審議事項

### 1 . 校友会関係他の報告（小林会長）

#### ( 1 ) 県支部総会参加報告

以下の支部への総会参加について報告がされた。

青森県支部（8月7日）

新潟県支部（8月28日）

福井県支部（9月4日）

県支部総会の開催にあたっては、大学OBへの通知徹底のため、県人会などの同窓会とは異なるチャネルからのアナウンスも必要なのはとのご意見があった。

#### ( 2 ) 錦祭実行委員会に参加

50回目のラスト錦祭に向けて、今回、初めて学生の自治委員会である錦祭実行委員会との交流を図った。今後、準会員支援委員会、事業委員会とも連携して、ラスト錦祭への取り組みの具体化を図る。

#### ( 3 ) 留学生の会に参加

高見沢副会長から電機大に留学している学生との親睦と交流のための「留

学生の会」に参加したとの報告がされた。

## 2. 今年度同窓会予算の見通しについて

小林会長より、今年度の予算の見通しについて、以下報告がされた。

- ・ H22年度収入は、6、864千円程度となる見通しである。これは、当初予算から、1,960千円程度の減収となる。
- ・ 減収に対応して補正予算を試算した。執行予算をH21年度並とすることで、収支が赤字となることはないと予想される。
- ・ 今後は、緊縮予算の方針で活動を進めてゆく必要がある。

## 委員会報告

### 1. 規定検討委員会（野崎委員長）

委員長より、口頭にて以下事項の説明がされた。

- ・ 「助け合い基金」の長期延納者の状況として、3名の延納者のうち、2名からは回収済み。
- ・ 残る1名に関しては、学生支援センタより延納者に対して、返済依頼の文書を出す予定。
- ・ 残る1名の延納対応については、最終的には会長判断を頂くが、助け合い基金から返金することも可能である。

### 2. 広報委員会（福田委員長）（配布資料2参照）

委員長より、口頭にて以下事項の説明がされた。

- ・ 次回の幹事会に、村田前会長をご招待する予定である。
- ・ 同窓会幹事紹介ページへの取り組みを進めているので、是非、各幹事原稿（100文字程度）を提出してほしい。

### 3. 準支援委員会（赤松委員長）

委員長より、口頭で以下の事項の説明がなされた。

- ・ 支援イベントである「全日本学生ソーラーカー大会」の活動結果としては、2位の成績であった。

### 4. 事業委員会（福嶋委員長）

柳田副会長より、口頭にて以下事項の説明がされた。

- ・ OB交歓会は、10月30日に錦祭開催時の神田キャンパスで、10月31日に鳩山祭開催時の鳩山キャンパスで実施する予定である。現在、実施準備を進めている所である。次回の幹事会で詳細内容のお知らせをする予定である。
- ・ オープン幹事会は、12月4日、5日の日程にて実施する予定である。現在、宿泊場所の選定も含めて、具体的な内容の検討を進めている所である。詳細な内容がまとまりしだい、ご案内をする予定である。

### 5. 総務委員会（本橋委員長）

小島役員より、総務委員会の活動内容が報告された。

- ・ 総務委員会の定例業務として、幹事の皆様への的確な情報提供などのサービス提供並びに、円滑な幹事会運営を図るため、定常業務として以下の3点に取り組んでおります。

幹事会、役員委員長連絡会の開催ご案内と参加者取りまとめ  
 幹事会の配布資料の取りまとめ、議事録作成とHPへ掲載  
 幹事会の司会進行と審議運営

## V. その他

橘幹事（校友会事業委員長）より以下のご案内がされた。

(1) 校友会の研修見学会のについて

日時：2010年10月14日（木）

場所：高エネルギー加速器研究機構、  
 筑波神社、茨城県フラワーパーク

募集：80名

参加費用：3,000円

(2) 校友会の公開講演会について

日時：2010年10月21日（木）18:00

場所：東京電機大学 東京神田キャンパス  
 7号館丹羽ホール

講師：政治評論家 岩見 隆夫氏

テーマ：政治よもやま話

大館幹事（校友会埼玉支部長）より以下のご案内がされた。

(1) 校友会埼玉支部の技術研修・見学会について

日時：2010年11月12日（金）- 13日（土）

場所：(1日目) 信濃川電力所、水力発電所

(2日目) 刈羽原子力発電所、BTC訓練センタ

募集：40名

参加費用：13,000円

---

## 次回開催（第5回）

日時：2010年10月20日（水）18:30

場所：神田キャンパス 10号館 校友会 6階会議室

以上